

# 斜面での3Dレーザースカナ計測勉強会を実施

～近畿地方整備局 六甲砂防事務所～

斜面对策工事の事前測量として、従来の人手によるターゲットを用いた測量から、3Dレーザースカナ（LS）を用いた測量を実施することにより、作業の効率化と安全性の向上が見込めます。

今回、3DLS計測の方法などについて、現地で測量方法について見学しました。

## 概要

月 日：平成30年 5月25日（金）

場 所：神戸市東灘区本山町地先

工事名：保久良地区斜面对策（その4）工事

受注者：ライト工業（株）

参加者：事務所職員等 19名

受注者 4名

六甲砂防事務所では、砂防堰堤工事や法面工事が多く、施行場所も山中での施行となります。

大規模な土工が少なく、ICT建機を活用した施行事例が少ないのが現状です。

従来は、斜面での工事においては、着工前測量や出来高計測において、作業員が斜面中の測点、変化点などにターゲットを直接持って行き測量を実施していましたが、今回、3DLS測量を活用することにより、基準点に据え付けた機器からレーザーを照射し、点群データを取得することにより、地形の計測が可能となります。

3DLS測量により、作業効率の向上と共に、急斜面にターゲットを持った作業員が立ち入る必要がなくなり、安全性も向上しています。

### 【参加者の感想】

- ・1分程度で写真データを撮影し、点データには色を付けることができ、はっきり映し出されていました。作業時間が大幅に短縮される上、精度が良いので、今後の砂防工事にどんどん取り入れていけたらなと思いました。
- ・機器の性能の向上により短時間で測量できるようになったとのことで、より多くの現場での展開が可能になってくると感じました。
- ・今回は事前測量でしたが、次回は点群データで法面の掘削量がどのような形で表されるかを勉強したいです。



工事斜面



3DLS機器

計測の様子



取得データの確認

### 【お問合せ先】

国土交通省 近畿地方整備局 六甲砂防事務所 工務課、東六甲出張所  
〒658-0052 神戸市東灘区住吉東町3-13-15 TEL：078-851-0535

